

地球にやさしい3R推進人づくり事業費

事業評価個票（事業実施：平成30年度）					部局名	環境エネルギー部		
短期アクションプラン	テーマ	テーマ6 再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用						
	施策	施策2 国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用						
	目的	県土の7割を占める豊かな森林資源や湧水等の水資源など、県民にとって貴重な財産である自然環境を守りながら、地域の産業や暮らしに活かし、次世代につないでいく。						
	目標指標(R2)	自然公園利用者数	14,000千人					
	策定時の実績	11,255千人(H27)	現状	11,300千人(H28)	主要事業	ごみゼロやまがたの実現に向けた循環型社会の構築		
事業名	地球にやさしい3R推進人づくり事業費			担当課・担当	循環型社会推進課 リサイクル・環境産業担当			
事業開始年度	平成23年度			事業終了(予定)年度	未設定			
事業の目的 (目指す姿を3行程度で簡潔に)	地球温暖化対策や自然との共生、3R推進の観点から、関係する事業者の製品・技術、関係団体の環境保全活動等の状況及び環境エネルギー部を中心とした行政の取組の状況等を展示・紹介し、またこれらを体験する場として「やまがた環境展」を開催し、県民の環境に配慮したライフスタイルへの転換の促進を図る。また、将来の3R推進を担う世代を対象とした事業を実施することにより、循環型社会に相応しい人づくりを行う。							
事業概要 (5行程度で簡潔に)	(1)地球にやさしいライフスタイル促進事業(やまがた環境展の開催) ・企業や団体等が取り組む地球温暖化対策や自然との共生、3R推進など環境エネルギー部の所掌事務全般に渡る総合的な情報発信及び体験の場を提供し環境に対する県民意識の向上を図り、循環型社会及び低炭素社会形成に向けた機運を醸成する。 (2)3R推進人づくり事業(大学と連携した3Rワークショップ、環境にやさしい料理レシピコンテスト) ・大学と連携し、小中学生を対象とした3Rを題材としたワークショップを実施することにより、大学生及び小中学生の3R推進への意識醸成を図る(「やまがた環境展」での開催)。 ・食品を無駄なく活用するなどの「環境にやさしい料理レシピ」を募集し、人気投票等により入賞レシピを決定。入賞レシピや環境にやさしい料理について「やまがた環境展」で入賞料理の試食提供を行うなど広く啓発する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 上記実施方法とする理由：民間事業者等の主体的な取組を促進するため。							
予算額・決算額 (単位:千円)	費目(予算見積書のグループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	地球にやさしい3R推進人づくり事業費	3,923	3,923					
	3R推進人づくり事業	1,789	1,700					
	計	5,712	5,623	0	0	0		
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金							
	繰入金							
	その他特定財源	5,712	5,623					
	一般財源							
計	5,712	5,623	0	0	0			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	やまがた環境展来場者数	活動実績	人	17,483	19,160			
		当初見込み	人	22,000	22,000	22,000	22,000	-
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標 (所管部局の分析)		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	1人1日当たりのごみ(一般廃棄物)の排出量 (「やまがた環境展」の開催により、県民や事業者の廃棄物削減の取組みを推進し、一般廃棄物排出量の削減に寄与する)	成果実績	g	920	集計中			
		目標値	g	883	862	841	820	-
		達成度	%	96.0%				
	産業廃棄物の排出量 (「やまがた環境展」の開催により、事業者の廃棄物削減の取組みを推進し、産業廃棄物排出量の削減に寄与する)	成果実績	千トン	3,501	集計中			
		目標値	千トン	3,558	3,558	3,558	3,558	-
		達成度	%	101.6%				
関連事業	・循環型社会形成推進事業費							

事業目標の考え方(事業目標設定時)

<ニーズ及び必要性>循環型社会形成に向けたイベントとして平成15年度から内容を充実させながら開催を重ね、当初の3R推進及び循環型産業の育成を目的とした催しから、現在は、地球温暖化対策や自然との共生、3R推進といった環境エネルギー部全体の所掌事務に渡る環境保全に係る総合的な情報発信及び環境に配慮したライフスタイルへの転換の促進を図る場として県民に定着してきており、事業の重要性は非常に高い。特に近年は体験型の観点も踏まえて事業内容の充実を図るなど、より県民に身近で満足度の高いイベントとして、親子連れや高齢者等幅広い年代の来場者から親しまれておりリピーターも多い(約50%)。
 <目標設定>活動指標は駐車場を含めた会場(ビッグウイング)の収容キャパシティを勘案したやまがた環境展の来場者数を設定し、成果指標は第2次山形県循環型社会形成推進計画に定める目標値を設定。

事業所管部局による評価・検証

	項目	評価	評価に関する説明
事業目標の妥当性・達成度	事業の目的は県民や社会のニーズを的確に反映しているか。	A	・3R推進、循環型産業の振興のみならず、環境保全に係る総合的な情報発信を図る事業であり、多くの一般来場者があり、事業者、団体等の出展希望も多い。県の環境施策の推進に当たり、非常に重要かつ優先度の高い事業である。 ・開催会場の収容力を勘案して設定したものであり妥当である。 ・平成30年度は、前年度を上回る19,160人の来場があり、多くの県民の意識啓発が図られた。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	A	
	目標水準は妥当か。	A	
	期待する成果が得られたか。	A	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	
事業内容の妥当性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	A	・平成30年度の来場者は、当初見込み22,000人に対し、19,160人となり、前年度から1,677人の増加となった。 ・県民の意識啓発のため、広く参加を促す事業であり、入場料を無料とすることは妥当である。 ・事業の経費については、環境展の企画・開催・運営に関する事業費用、環境展に連動して実施される事業に限定している。 ・実行委員会を設けて事業を実施しており、効果的に事業が進められている。
	支出先の選定は妥当か。	A	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	A	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	A	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	A	
類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A		
の役割分担	市町村、民間等に委ねることができない事業なのか。	A	県下全般から情報を集約して幅広く情報発信を行う事業であり、また、収益を目的としない事業者の出展に当たっては出展料等を徴収することが適当でないことから、県が主導して実施すべき事業である。
今改善の課題等	天候に左右されず来場者を確保できる企画の発案、実施。		

- ・事業所管部局による評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選ぶこと。
- A: 目標を上回って達成する見込み。期待通りの成果(100%以上)。妥当。
- B: 目標を概ね達成する見込み。概ね期待通りの成果(80~99%)。概ね妥当。
- C: 改善の余地あり。期待した成果を下回っている(79%以下)。
- : 該当しない